

第65回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要項

主催 山梨県高等学校文化連盟放送専門部 NHK甲府放送局

後援 山梨県教育委員会 山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会

目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。

実施部門 (1) アナウンス部門
(2) 朗読部門
(3) ラジオドキュメント部門
(4) テレビドキュメント部門
(5) 創作ラジオドラマ部門
(6) 創作テレビドラマ部門
(7) 校内放送研究発表

参加資格 (1) 2018年4月現在、以下の学校に在籍中の生徒およびその作品であること。
・高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校（第3年次まで）、
・専修学校および各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）
(2) 山梨県高等学校文化連盟放送専門部へ分担金を納めていること。
(3) 番組制作の各部門は、高校生のオリジナル・創作に限る。また他のコンテスト・コンクール等に参
加した作品およびそれを改変した作品の参加は認められない。
(4) アナウンス部門・朗読部門の両方に、同一の生徒がエントリーすることはできない。
(5) 参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わることを条件とする。

日時 平成30年 6月 15日（金） 13:00～17:00

創作ドラマ（ラジオ・テレビ）部門 非公開審査

※NHK甲府放送局にて、NHK審査員・外部審査員・顧問審査員にて審査（NHK杯担当立ち会い）

平成30年 6月16日（土） 公開審査及び創作ドラマ部門公開

8:45～ 9:00 -----出場者（校）受付

8:55～ 9:10 -----審査員・運営員打ち合わせ

9:00～ 9:20 -----出場生徒へ大会実施概要説明・諸注意、開会式

9:25～15:00 -----各部門コンテスト

15:00～15:30 -----表彰式

15:40～16:50 -----研究講座（全体作品講評および指導）・終了後解散

場所 山梨市民会館 山梨市万力1830（TEL. 0553-20-1199）

※6/15(金)非公開審査は、NHK甲府放送局にて行います。非公開ですので観覧等はできません。

参加規定 平成30年度NHK杯全国高等学校放送コンテスト山梨県大会実施要領による。

照会先 NHK杯全国高等学校放送コンテスト山梨県大会担当

山梨県立日川高等学校 放送部顧問 宮久保純子

〒405-0025 山梨市一町田中 1062

TEL: 0553(22)2321 FAX: 0553(22)7121

E-mail: miyakubo@kai.ed.jp

第65回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要領

詳細日程 平成30年 6月 15日(金) 13:00~17:00 創作ドラマ(ラジオ・テレビ)部門非公開審査
※NHK 甲府放送局にて、NHK 審査員・顧問審査員にて審査(NHK 杯担当立ち会い)

平成30年 6月16日(土) 公開審査及び創作ドラマ部門公開

8:45~ 9:00 -----出場者(校)受付(会場外特設受付にて。受付後は速やかに開会式会場へ)
8:55~ 9:10 -----各部門審査員・運営員打ち合わせ
9:00~ 9:15 -----出場生徒へ大会実施概要説明・諸注意等
9:15~ 9:20 -----開会式(部会長挨拶・審査員紹介)
9:25~ -----各部門コンテスト開始(各部門で、切りのいいところで昼食・休憩)
12:00(予定) -----アナウンス部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
12:50(予定) -----アナウンス部門決勝進出者発表(13:00決勝点呼(予定))
13:00(予定) -----朗読部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
13:50(予定) -----朗読部門決勝進出者発表(14:00決勝点呼(予定))
~14:30 -----コンテスト全部門終了
15:00~15:30 -----表彰式
15:40~16:50 -----研究講座(全体作品講評および指導)
16:00~ -----顧問:全国大会出場者手続き(事務局)
16:50 -----完全退館(皆様のご協力をお願いいたします。)

審査員 各部門とも、NHK関係者1 県教委等1 顧問1 計3

実施部門およびエントリー数 (*詳細は「校内放送研究 NO.175 2018,3」を参照。熟読してください。)

- アナウンス部門: **3名** 1分10秒~1分30秒以内。自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限り。他のコンクールに参加した作品の手直しなどでの出場は認めない。
校名は読まない。エントリー番号・氏名を言い、ニュースを読む。**決勝は、別に課題あり。**
- 朗読部門: **3名** 指定作品より1つ選び、**1分30秒~2分以内**で朗読する。
 - 朗読のはじめに、番号、氏名、朗読指定作品の著者名、書名を読む。これも規定時間を含む。
 - 抽出箇所の開始ページを記入する。抽出は必ず文頭から開始、文末で終了する。
詳細は全国大会規定(「校内放送研究 NO.175」掲載)を確認のこと。

*アナウンス部門・朗読部門共に、入賞者の決定は、一次予選及び決勝の得点を合算して行う。

- 一次予選-----個人の原稿のみをアナウンス・朗読する。(10名程度が決勝へ)
- 決勝-----当日与えられる課題のみをアナウンス・朗読する。(上位6名が入賞)

3 番組部門: ①ラジオドキュメント・1本

6分30秒~7分以内。CD-Rに、CD-DA形式(音楽CD形式と同じ)で録音する。

- 作品の最後に「制作は〇〇高等学校放送部(等)でした」というクレジットコールを入れる。
- クレジットコールに音声を重ねてはならない。ドルビー等使用不可。

②テレビドキュメント・1本

7分30秒~8分以内。

DVD-RにDVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比16:9)で作成。

- 作品の最後に「制作:〇〇高等学校放送部(委員会等)」のクレジットタイトルを入れる。(計時に含む。映像等が重なっても良い。)
- 番組の前後に、**5秒ずつ(様式3)のテストパターン(カラー)**を入れる。(計時に含まず。)
- テストパターン改変不可。また映像・音声が重ならないよう注意。

③創作ラジオドラマ・1本

④創作テレビドラマ・1本

- ・ともに時間は8分以内。出演者は自校生徒に限る。
- ・脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品のみ。文芸作品等からの脚色・改変不可。
- ・作品（CD・DVD）の仕上げは、ドキュメント部門と同様。

- 4 校内放送研究発表： コンテスト形式ではなく発表会で、2校まで全国大会に参加できる。
但し、2校を超える出場があった場合は、審査員の合議により全国大会への派遣校を決定する。

原稿用紙・CUEシート・レーベル印刷 すべてコンテストホームページからダウンロードして使用。
CDまたはDVDは、指定のラベル（タイトル・学校名を記入）を印刷する。
「URL : <http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/>」 ※見本の拡大コピー不可
※仕上げは、別紙添付資料または「校内放送研究NO.175」に従ってください。

注意事項

1. どの部門も、応募にあたっては必ず「校内放送研究 No. **175**」を熟読のこと。
2. 制限時間は必ず守る。**（規定時間範囲外は即失格）**
エントリー番号は、全国大会用なので空欄。 なお県大会の番号は当日受付にてエントリー表配布・確認。
3. 番組部門では機器の操作は担当運営員が行う。代表生徒の立ち会いは、特に強制はしない。
4. 著作権に関しては、各学校で処理（様式2-4）。BGMやSE等は、極力著作権フリー（コンテスト委員会監修）のものや、自作が望ましい。様式2-3の一覧表は、著作権フリー・自作・フリーでない著作物、その他すべてを記入して添付する。著作物（BGM・SE・その他）を使用しなかった場合も「著作物使用無し」と記入し必ず添付。
5. 「**A r k y**（放送コンテスト委員会監修）」「**E X**インダストリー」「**エンドレスエコー**」「**サウンドファクトリー**」の音源CDおよび「**NHKクリエイティブ・ライブラリー**」については著作権（含・隣接権）処理不要。これら以外で、著作権フリーの素材を使用する場合はジャケットのコピーなど、フリーであることが証明できるものを添付すること。フリー素材を謳っていても、NHK杯では作品の著作権保持が作成校とNHKになるため、使用できないものがあるので注意。（使用不可素材追加があった場合は、その都度連絡します。）
Web上で配信されている楽曲等の使用については、禁止。
6. 著作権処理が必要な音源・映像等については各校で事前に処理し、一般の手続きを終えた後、そのコピーを台本に添付する。**著作権処理がされていない作品は「失格」となる。**
7. 番組制作に当たっては、番組に登場する出演者・協力して頂いた方々などに放送のための了解を確実に得る。
（例：出演者や協力者、イベント主催者等⇒様式2-5、インタビュー回答者等⇒「ご協力のお願ひ」）
8. **締切り時刻を過ぎて提出されたものは、オープン参加となる。**（大会当日の状況によっては発表できない場合有り）
また、提出後の原稿の差し替えは受け付けない。
9. 全部門を公開とする。各校とも放送部の活動の参考になるよう、全部員の参加を推奨する。
10. 規定その他わからないこと疑問に思った点は、**富士河口湖高校・川手里佳（全国大会運営員）**へ質問のこと。
直接、全国大会事務局へ問い合わせはしない。
11. 本大会は、**保護者・放送部OB等を含め、関係者以外のはご遠慮**いただいております。
12. この大会は、全国大会への選考も兼ねる。諸般の事情により、全国大会への出場を希望しない、または危ぶまれる場合は事前に申告すること。この場合、得点は参考得点とし順位は付けない。

提出物および締切り ※提出にあたっては、規定を確認し、且つ権利処理完了を確認してください。赤本P31参照

- 1) 台本（アナウンス・朗読原稿、番組CUEシート） 各4部（権利処理書類含む） ※ホチキス留め箇所注意。
- 2) 番組作品（CD、DVD）、発表用とバックアップの 計2枚（それぞれの番組部門に付き）

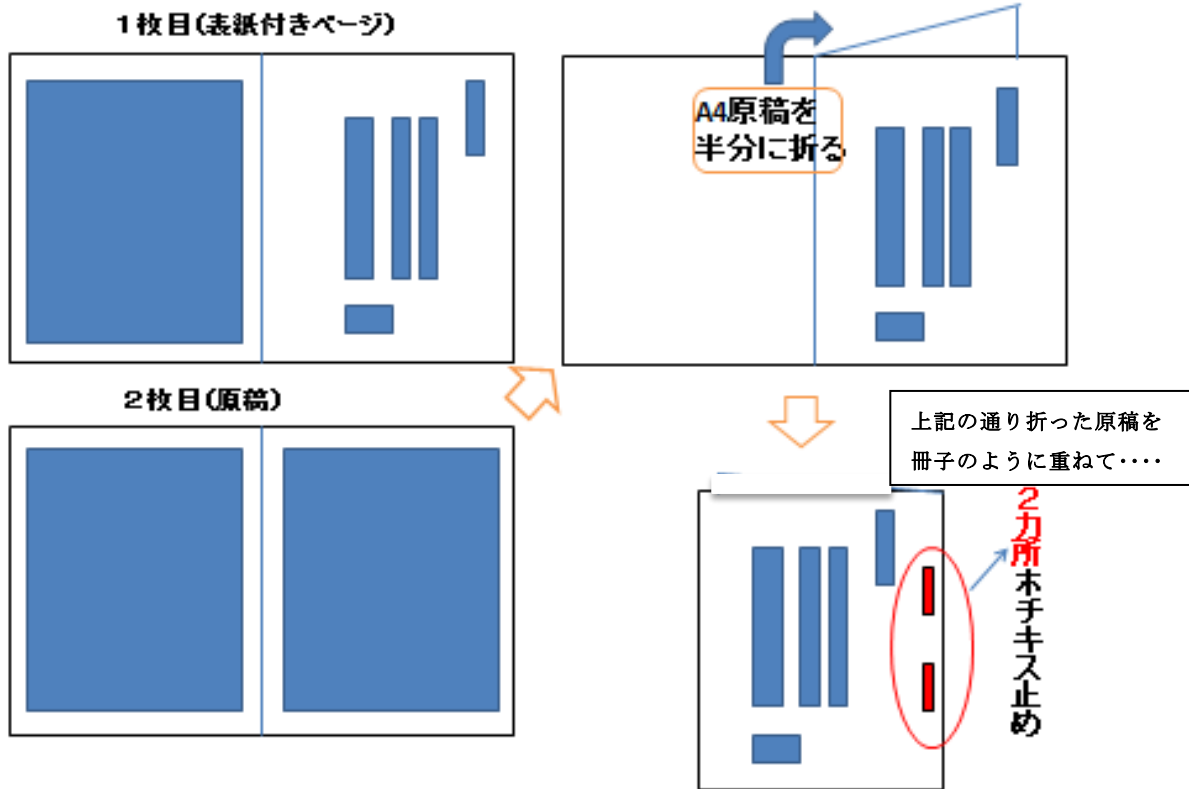
締切り : **参加申し込み（参加申込書をメールで送信） 6月7日（木）16:00（午後4時）**
作品（作品、台本・原稿それぞれ4部） 6月8日（金）16:00（午後4時）時間厳守
※メールにて申し込まれた作品以外は受け付けない。

提出先 : 〒406-0031 笛吹市石和町市部3 県立笛吹高校 放送部顧問 剣持 芳江 宛
連絡先 : TEL 055(262)2135 FAX 055(262)6381 e-mail: yoshiek@kai.ed.jp

※事務局の先生方には、準備その他でご協力をお願いします。

<別紙資料>

◎アナウンス・朗読原稿の製本



◎CUEシート

CUEシート冊子の完成

- ①番組進行表 表紙
- ②CUEシート
- ③使用著作物一覧表
- ④使用著作物許諾書

※左上一カ所をホチキス止め

↓
完成

番組進行表 表紙

1

2

3

4

確認欄